

検査材料別検出菌一覧

材 料	日常検査で検出できる微生物	日常検査では検出が困難で 目的菌の依頼が必要な微生物	検査材料以外からの汚染菌 として考えられる微生物 ^{**}
開放性の膿	黄色ブドウ球菌 溶血レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌 緑膿菌 α・γ-レンサ球菌 腸球菌 肺炎球菌	抗酸菌 真菌 放線菌	表皮ブドウ球菌 <i>Micrococcus</i> sp. 枯草菌 <i>Corynebacterium</i> sp.
非開放性の膿	黄色ブドウ球菌 溶血レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌 緑膿菌 α・γ-レンサ球菌 腸球菌 肺炎球菌	抗酸菌 真菌 嫌気性菌 放線菌	開放性の膿に準ずる
皮膚からの材料	黄色ブドウ球菌 溶血レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌 緑膿菌 α・γ-レンサ球菌 腸球菌	抗酸菌 放線菌 真菌	開放性の膿に準ずる
呼吸器からの材料	黄色ブドウ球菌 溶血レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌 緑膿菌 肺炎球菌 インフルエンザ菌 その他の <i>Haemophilus</i> sp. プランハメラ	ジフテリア菌 百日咳菌 抗酸菌 レジオネラ菌 マイコプラズマ ノカルジア 真菌 クリプトコッカス	α・γ-レンサ球菌 非病原性ナイセリア 表皮ブドウ球菌 <i>Corynebacterium</i> sp. <i>Micrococcus</i> sp.
眼からの材料	黄色ブドウ球菌 溶血レンサ球菌 肺炎球菌 <i>Haemophilus</i> sp. 緑膿菌 α・γ-レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌	真菌	表皮ブドウ球菌 <i>Corynebacterium</i> sp. <i>Micrococcus</i> sp. 真菌
耳からの材料	黄色ブドウ球菌 肺炎球菌 溶血レンサ球菌 インフルエンザ菌 緑膿菌 <i>Proteus</i> sp. α・γ-レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌	抗酸菌 真菌	表皮ブドウ球菌 <i>Corynebacterium</i> sp. 枯草菌 真菌
泌尿器、生殖器からの材料	黄色ブドウ球菌 溶血レンサ球菌 大腸菌 その他の腸内細菌 緑膿菌 腸球菌	淋菌 抗酸菌 真菌 トリコモナス ガードネセラ	大腸菌 その他の腸内細菌 腸球菌 表皮ブドウ球菌
糞便	サルモネラ（チフス、パラチフスを 含む） 大腸菌O157 赤痢菌	病原大腸菌血清型 腸管出血性大腸菌 ビブリオ（コレラ菌を含む） カンピ ロバクター クロストリディオイデ ス・ディフィシル クロストリジウ ム・パーフリンゲンス（ウェルシュ 菌） エルシニア [*] セレウス菌 [*] 黄色 ブドウ球菌 [*] エロモナス [*] プレジオモ ナス [*]	—

注1) 組織、体腔液、胆汁等より検出される微生物については非開放性の膿に準ずる。

注2) 毛髪、爪、皮膚など、表在性真菌症の場合は*Candida*、*Trichosporon*、*Trichophyton*、*Microsporium*、*Epidermophyton*などが重要である。

※ 菌数が多い場合は目的菌の依頼がなくても検出できる微生物

※※症例によっては起炎性を否定するものではありません。